



住めるくらせる東京に

日本共産党
都議会議員

せいの恵子 都政レポート

No.014 2026年4月号

発行・日本共産党・せいの恵子事務所
〒114-0032 北区中十条2-11-6
☎3906-2821 FAX 3906-3225

都民の暮らしの支援に軸足をおき

都議会第1回定例会

「生活できる東京」の実現を



都議会第1回定例会が終わり、東京都の新年度予算が決定しました。

税収増も背景に、一般会計の予算規模は9兆6000億円を超えました。都民の運動と日本共産党都議団の論戦で、予算案に、①水道基本料金の4か月無償化、②公立小中学校のエアコンの更新・断熱対策補助、都立高校の校舎やトイレ改修をはじめとした環境改善、③多摩モノレールへのシルバーパスの適用準備などが盛り込まれたことは重要です。

● 巨大噴水、客船ターミナル—税金のムダづかいやめよ

知事は予算案を「所得環境が改善」という都民生活の実態とかけ離れた認識で編成、「国際競争力の強化」に軸足をおいて、お台場に整備費26億円をかけた巨大噴水を建設し、隣接する青海地区の客船ターミナルを650億円も投じて拡張する計画を示しました。税金のムダづかいは、目に余ります。

● 150項目の都民要求を実現する「予算組み替え案」提出

日本共産党都議団は、都民の暮らしの支援に軸足をおき、「生活できる東京」の実現をめざして、予算の6.7%を見直すことで150項目の都民要求を実現する予算組み替え案を提出しました。可決には至らなかったものの、私も日本共産党都議団の一員として、今後とも、その実現に全力を尽くしていきます。

都民の暮らしを守る

日本共産党 都議団の提案

1

30年間も
すえおきの

障害福祉 手当増額を

2

賃上げに
つながる

公契約条例 の制定を

3

新規建設
停止やめ

都営住宅 の増設を

4

都営バス
地下鉄の

子ども運賃 18歳まで

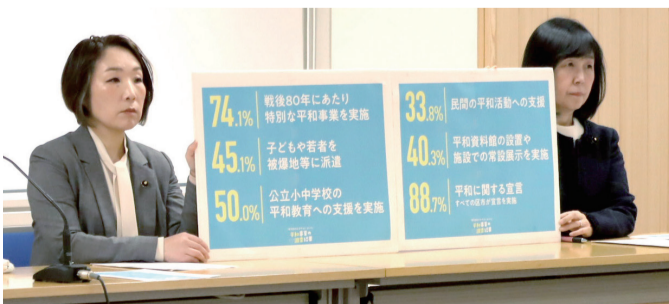
平和事業の調査結果

日本共産党都議団は、都内区市町村における平和事業の調査を行い、3月6日に、その結果を記者会見で公表しました。

北区では、「戦後80年記念誌」発行などの事業が取り組まれています。



↑調査結果の
詳細はこちら



調査結果を公表する、せいの恵子都議(左)

最近ではバスの本数が減ったと感じる方もいるのではないのでしょうか。
東京都交通局は、この4月に都営バスの路線変更を実施すると発表。深夜バス6系統を廃止するほか、土休日を中心に運行規模を縮小し、北区でも王子駅から出ていた深夜バスの2路線が廃止になりました。これは、深刻な運転士不足を背景としています。
日本共産党都議団

バスを走らせるためには…

は昨年1月に、「地域公共交通の危機打開・充実への提言」を発表し、バスの運転手不足対策などを求めてきました。それから1年余、都は人材育成や働く環境の改善に取り組むバス事業者の支援に、初めて計14億円の予算を計上しました。
通勤・通学や病院に通う高齢の方など生活に欠かせない公共交通を整備・充実させるために、これからも頑張ります。

せいの恵子の

自転車に乗って

